

大人

大人だって間違えるし、泣きたい夜もある。あなたはどんな大人になろうとしていますか？ いや、もう大人？

EVENT

冬季スポーツ大会

卓球、バレーボール、バドミントン
3年生は最後のスポーツ大会 P4



TRAVEL

修学旅行

戦争や基地問題について考えた
4泊5日の沖縄の旅 P6



BOOK

おおきくなる そして？

こどもの頃のお気に入りのシャツ。いまの君はもう着ることができません。あのときより何倍も身体が大きくなったからね。数も数えられないし、文字も読めなかった君。いまはもうスラスラ読めるし、計算もできる。よく泣いていた君。自分の気持ちが言葉にできずに泣くことしかできませんでした。でも、いまは自分の気持ちを表現でき

るようになりました。知らないこともたくさんあったけど、いまはたくさんを知っています。このようになって、できるようになったことがたくさんあります。だって、初めはなんにもできなかったのですからね。

高校生にもなると、身体はもうそんなに大きくならないかもしれない。でもさ、もっともっと君は大きくなるよ。20代、30代、40代、その先もずっとね。君は大きくなったら何になりますか？ どんな大人になろうとしていますか？ そのためには、どんなことができるようになるといいのでしょうか。



おおきくなるの
ほりうちせいいち さくとえ
福音館書店 / 品切れ



BOOK

ひろーい空へ

ふとしたきっかけで、自分がとてもちっぽけで頼りなく感じる時があります。昨日までは、これっぽっちもそんなことは感じていなかったのね。それはつまり、昨日よりも自分の視界が少

し広がったってこと。自分がちっぽけになったんじゃない。君の世界が広がったのさ。だから、臆病になったりうつむいたりすることはない。胸をはって、あたりをよく見るんだ。そうやって広い世界に出ていけば、自分の大きさのことなんて忘れてしまうものさ。



とべ!ちいさい
プロペラキ
小風さち作 / 山本忠敬 絵
福音館書店 / ¥990



BOOK

いつまでたってもこども

のえんどうには、100にんのこどもがいました。こどもたちは、さやの中で旅立つ準備をしながら、その時を待ち構えています。やがて、旅の支度が整いました。こどもたちは一斉に空へ飛び立っていきます。自分が根を張る場所を探しにね。そして、こどもたちは芽を出し、のえんどうになっていくのです。こどもたちが大きくなるために、旅立ちの準備を整える大人がいる。そして、その大人にとって君たちは

いつまでも愛おしいこどものままなのです。



のえんどうと100にんの
こどもたち
甲斐信枝 さく
福音館書店 / 品切れ



LETTER



老いることは衰えることではない

この本、どこかで見つけたら手にとって眺めてみてください。絶版らしいんだけど、もしかしたらどこかで出会うことがあるかもしれない。「あ、これはあの時の！」と宝物を見つけたみたいに手を伸ばしてほしい。この本の正体は、2007年に開催された「アマゾンの侍たち一人間・自然・芸術」という展覧会のカタログで、アマゾンに住むインディアンたちの写真と岡本太郎の言葉が収められています。生きることをまっすぐに励ましてくれます。君たちは大人になるために勉強やバイトをしているわけじゃないでしょ？ おそらく、この世界でハッピーに生き抜いていくために学びや労働をしているはず。ご存知の通り、大人にもいろんな種類の大人がいます。漠然と大人になるのではなく、どんな大人になりどんな生き方をしたいのか？ そのためには何をしなくてはならないのか？ そんなことを考える必要がある。「え、そんなこと考えてなかった！」っていうその君。どうぞご安心を。大人になってしまった僕でも今だにそのことを考えて続けているのです。



アマゾンの侍たち×
岡本太郎
Wonder Art Production
絶版



LIFESTYLE



大人って何だ？

文 松本遼

ある日、友達から一通のメールが来ていた。この星しんぶんの原稿依頼。テーマは「大人について」。その友達とは14年前の高校卒業後も繋がっている仲間で、つい最近結婚し、僕も北海道まで会いにいらした。「大人かあー、僕でも大丈夫かな？」って思いながらこの文章を書いています。

僕は35歳で岐阜の山の中に住み、30人ぐらいの人たちとハムやソーセージを和気あいあいとつくる仕事をしています。4年前に結婚し妻と二人暮らし。休日には趣味の音



楽や木工などを存分に楽しんでいます。大人になると、字は自然に綺麗に書けると思っていたが、全く綺麗になる兆しは無く、高速道路のJCTをジェットと読むものだと勘違いしていたり、波浪警報をHello警報だと言い張っていたのも最近の出来事だ。正直、僕は自分の事を大人と思ったことはなく、こどもとも思っていない。そのカテゴリー分けは自分には適用できないのかもしれない。

大人だって間違えるし、泣きたい夜はある。新しい事をする時は怖くなったり、緊張したりする。それはこどもも同じで、ドキッとする正論を言ったり、難しい顔して悩んだり、敏感に空気を読んでいたたりする。

でも僕の中に大人と呼べる存在がなかった訳ではなく、親や地元のおじさんやおばさん、学校の先生などたくさんの大人に見守られて生きてきたし、今でも様々な大人たちにお世話になってる。そして嬉しい事に、僕の事を大人と思ひ、慕ってくれたり、相談やアドバイスを求めてくる若い人たちもいる。大人とは「自分は大人だ」と宣言するものではなく、他者がラベリングするものなのかもしれない。もしあなたが僕の事を大人だと言うなら、大人だって夢を追いかけて、喜びで眠れない夜や不安に襲われて震える時があって、人に迷惑をかけて、人の迷惑ももらい、生かしかされながら、進んでるよとあなたに言おう。ありがとう、ごめんなさい、よろしくお願いします、としっかり言える人に僕もあなたもなれたら、僕たちの世界は豊かな方向に広がっていきけると思っています。



松本遼 | Ryo Matsumoto

北星余市高校の39期。現在は食肉加工組合GOBARに勤めるかたわら、mountain mountainsというバンドを率いて各地を回っている。

LIFESTYLE

親が大人？ 先生が大人？
親切にしてくれる人が大人？

文 牧野愛梨

小学1年生の頃、小学6年生が大人だと思った。中学3年生になると大学3、4年生が大人だと思った。今大人ってなに？って聞いてもはっきり答えられる人っていない。みんなわからないって言う。聞いてみたもん。

小さい頃は確かに「大人」があった。でもいつからかなくなった。いつからなくなった？ 小さい頃は自分じゃできないことがあるから、手伝ってくれる人が必要。その人が大人？ 自分じゃわからないから、できるようになるまで色々教えてくれる人が大人？ でも、大きくなるにつれて、日常生活で他の人からの手伝いなんて必要なくなる。小学生の頃、大学生があんなに自由に見えたのは、きっと親の援助がなくても何でもできたから。どこかに行くのに親と一緒に行く必要なんてなくて、買いたいものも親の許可なく買えるみたいな。小学生の年齢じゃ出来ないことをやっていたから自由に見えたんだろうな。

高校3年生になって、今私の中でこんな「大人」になりたいなって思う人、それは困っている人を助けることができる人。自分の「やりたい！」ってことを苦勞していても楽しくやっていて、やっていく中で少しずつ周りを巻き込みながら周りの人も楽しくしてる人。私じゃできないことをやってる人がいいな。そんな人になりたいって思う。でもその反対！ そうじゃない人が絶対にいる。頭が弱い人、こどもみたいな人、弱い立場の人にしか強く出られない人、たくさんいる。めっちゃいる。その人も自分の稼いだお金で自立して親の援助なんて全く受けてない。でもそんな人を私は「大人」なんて思わない。私の中で独断と偏見と今の自分の価値観で決めた、「大人ってなに？」って聞かれたときに出る答えは、20歳を超えたら大人じゃなくて、自分の憧れの人。人として尊敬できる人。敬意をもって接することが出来る人。それが私の中の「大人」なんだ。小さい頃の、自分には出来ないことをやっている人が「大人」っていうのは変わらないみたい。



牧野愛梨 | Airi Makino

3年A組。冬休み福岡から東京まで1人旅して、最近週6でスノボ行ってる。

LIFESTYLE

やっぱり！
大人は信用できない
ものだったのか？

文 総合工作芸術家 だるま森

ってね、昔から言われてきたんだ。僕の上の世代、全共闘世代とか言われてる世代。今は団塊の世代とかっていわれてる人たちだけど、30歳以上の大人は信用するなって言ったの。自分たちもすぐに30歳になるだろうにどうするのよ？って心配してたら、上手い具合に30歳になったあたりで、ちゃんと信用してはいけない大人に育っていったね(笑)。で、これはどういうことかとずっと疑問だった。何か魔法でもかかるようにみんな同じ顔をした信用できなさそうな大人に変身しちゃうのだから。これは国籍の違い、出自

の違い、障がいのあるなし、見た目などへの差別偏見についても、子どもの頃になかったものでも大人になると生まれてくるものらしい。これはどういうことなのかしら？ そういう僕もいい加減いい歳になって、もう最終コースだもんね。信用できない大人の代表みたいなものになってきた。そうすると、年食った分、見えてきたものがあるよ。大人になると、何物かに人質をとられちゃうってことがわかってきた。驚いたことに、各国の歴史を見ても、何物かに人質をとられ、信用できない輩や政府や国や企業や……が生まれていることに思い至った。なるほど、信用できない大人のその先に、大元の何物かがいた。そいつは見えないし、用意周到で、人間を思いのままに操ることに長けている。さて、僕が今見えてきた何物かを、ここで言葉にしたら陳腐さにもほどがあるって言われるかも。あ、宇宙人の話ではないです(笑) そいつは「システム」っていう、人間の作り出したもので、今や一人歩きしてしまっている厄介な何物かだと考えている……という、僕も信用できない「大人」の一人なのであまり大きなことは言えないけれど。でも、何につけても必ず原因があると思っていて、生きづらさっていうものにもハッキリとした原因が必ずあると思ってるんだ。そいつを突き止めた時に、全ての答えがみえてくるように思ってる。

総合工作芸術家 だるま森+えりこ
Darumamori + Eriko

夫婦二人のARTユニット「総合工作芸術家 だるま森+えりこ」で活動。オリジナルの絵本・楽器・舞台はぜ〜んぶ手づくり。不思議でキュートなだるま森ワールドを全国の皆さまにお届け。2/1~4/29公開制作ワークショップ「だるま森とつくる〜みたこともないあしたの地図」を神戸で開催。是非遊びにいらしてください〜♡

大人の本と音楽と映画



ハイドアンド・シーク

19's Sound Factory

こどもから大人が変わるとき、「自分は人からどう見えているのか」と多くの人が考え悩む。でも意外とどうにでもなることで、一番大切なのは自分が自分であることだとこの歌が教えてくれたような気が。いつか自分自身を認め愛せる人になれたなら。(1年B組 眞鍋彩桜衣)



Rescue me

Every Little Thing

Every Little Thingの15thシングル。持田香織さん(主人公)が社会に出たての女性のストーリーを歌っているよう。最近の曲ではあまり聞かないシンセサウンドが入っています。私はWinkや小室哲哉の曲が好き。シンセサウンドが好きなら聞いて欲しい。(1年B組 田村萌々花)



蠅の王

ハリー・フック(監督)

嵐で船が沈み、無人島に辿り着いた少年たち。次第に野生に戻る子どもたちは力争いはじめ、殺し合いへと発展。いつ殺されてもおかしくない恐怖の中、最後突如大人が現れた時の安心感はハンパない。この映画ほど大人がいて良かったと感じる映画はないかも。(総合講座講師 ひね)



自由からの逃走

エーリッヒ・フロム(著)

大人は自由です。しかし、自由であることは耐えがたい孤独を与え、人間は自由を投げ捨て依存と従属を求めてしまうということを、フロムは「自由からの逃走」と表現しました。自由の孤独と不安を回避する方法は、愛と創造的な活動以外にありません。(吉田裕一)



ジョーカー

トッド・フィリップス(監督)

R15 指定作品。バットマンの宿敵ジョーカーが誕生するまでが「一人の人間」として描かれている。色々な問題が内在されている。「自分の存在は世界にとって何の意味もないのではないか?」という問い。観終わった後の感覚が何とも言えない。(紺野良子)



裏庭

梨木香歩(著)

庭は命の育つ場所。人が育つために「家庭」という言葉があるように、心を育む場所となります。物語の庭で自分と家族が抱える過去の傷を伴う闇に気づき、癒し、成長して行きます。根の大切さに気づける一冊です。(総合講座講師 瀬川桂子)



GEORGIA 香るブラック

佐藤健寿(著)

苦い。まずい。そう思っていた10代の自分。その頃はコーヒーのおいしさに気づいていなかったのだ。いまでは、出勤してまず、こいつを飲む。そこから一日が始まる。これが大人の味。ぜひ皆さんも飲んでみてください。飲むなら熱いうちに。(成田健太郎)



Growin' Up

Bruce Springsteen

ブルース・スプリングスティーンの1stアルバムの中の一冊。邦題は「成長するってこと」。題名からこの曲を選びましたが、スプリングスティーンの曲には世の中に反抗することの先に何が待っているのか、を考えさせるものが他にもあります。(谷口学)



アナと雪の女王2

ジェニファー・リー、クリス・バック(監督)

雪だるまのオラフが歌う『おとなになったら』という歌。「おとなになったら僕は不安になることもない/本当に素敵なおとなになるんだ」と歌いながら大人になることへの不安を伝えるのですが、大人になっても変わらないものを大切にしながら成長していきます。(中村希絵子)



ホームにて

中島みゆき

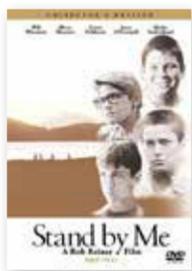
中島みゆきの『ホームにて』。中学生になりラジオでこの曲を聴いて、「走りだせば 間に合うだろう/かざり荷物を 振り捨てて/街に 街に挨拶を/振り向けば ドアは閉まる」の部分が、とても切なく感じて、大人とは悲しさを感じるものなのかと思った記憶が。(平野純生)



ぼくは勉強ができない

山田詠美(著)

こどもの時に読んでたら、今感じるとようなストレートさで秀美をカッコイイと思えたのかなあ? 葛藤を含んだ憧れをもったのかなあ? 救われる思いがしたのかなあ? 初めて読む時期によって、感じ方が違って来る気がする。それを確かめたくて、常に教室に仕掛けてる。(本間涼子)



スタンド・バイ・ミー

ロブ・ライナー(監督)

こどもだった少年たちがありふれた日常の中で、何気なくいつものノリで始めた冒険。そのことを通して、彼らは自分の周りにいる多くの人々のことを深く考えることとなった。青春の日々の中での特別な時、心に残る瞬間が一人の人間をつくる。(塩見耕一)



One Too Many Mornings

ボブ・ディラン

「You're right from your side, I'm right from mine (君から見れば君が正しい。僕から見れば僕が正しい)」『One Too Many Mornings』の一節。ロックの殿堂入りしたボブ・ディランはビートルズにも多大な影響を与えた。2016年には歌手として初めてノーベル文学賞を受賞。(妹尾克利)



子どもの難問

哲学者の先生、教えてください!

野矢茂樹(著)

大人という言葉聞いたとき、あなたはどのような人を想像しますか? 普段、当たり前のように使っていますが大人という言葉は実は曖昧です。働いていたら? 何歳以上なら? それとも何かできたから大人なのか? 大人も含めて考えてみると深い様々な題材があるので面白い。(福田綱基)



大人が楽しむぬり絵

こどもの時にぐちゃぐちゃと描いて遊んでたぬり絵が、大人になってまた楽しくなる。細かすぎて、毎回色鉛筆を削らないとできないくらい。1人でも2人でも楽しめる。ダイソーに売ってます。1階ボランティアの部屋でもできるので是非行ってみてね。(菅野瑞希)



EVENT

冬季スポーツ大会

2019.12.9(Mon), 10(Tue)

文 高崎 麻美 / 写真 辻田美穂子

2019年12月9日、10日の2日間、冬季スポーツ大会が開催されました。1年生にとっては夏季に続き2度目のスポーツ大会。夏季に比べクラスの仲間と打ち解けて臨めたようです。そして後期生徒会執行部の2年生にとっては初めて主催する大きな行事。慣れないながらも、みんなで声を掛け合って進行している姿が印象的でした。

みなさん「台風の目」という競技をご存知ですか？運動会などで目にしたことがあるかもしれません。数名が横に並び、1本の棒を手に持って走ります。コーンの周りを回るのが難しい。内側の人に力がないと外側の人が飛ばされてしまいますし、遠心力がかかり放り出されそうになります。みんなで足並みを揃えて走らないと前に進めません。担任もメンバーに加わり生徒に負けじと走り、体育館には、応援の声や、走者の悲鳴にも近い雄叫びが飛び交いました。

男子バレーでは1年生と2年生が熱い戦いを繰り広げ、まるで決勝戦のような盛り上がり。卓球、混合バレー、男子バレーの決勝戦は3年生同士の戦い。3年生にとっては最後のスポーツ大会ということもあり、いつも以上に気合が入りみんな目が真剣。

手の痛みを耐えながら最後までやり抜いた生徒、負けそうになり焦る気持ちを抑えながらがんばった生徒、自分に腹を立てながらも落ち着かせようと集中していた生徒、最後まで声援を送り仲間を応援し続けた生徒。今回もみんなのいつもと違う表情が見えました。本当にお疲れ様でした！





LIFESTYLE



大人になるということ

文・写真 若林勇太

10代の頃、とにかく早く大人になりたかった。なぜなら家の門限が厳しいことが嫌で、大人になって時間を気にせず遊べたから。今ではもちろん、自分の好きな時間に出かけることができるし、欲しい漫画があれば全巻を大人買いすることもできる。選挙権を得てからは、毎回自分なりに候補者の政策を吟味した上で投票に行っているし、運転免許を取得してからしばらくの間は失敗続きだった駐車も、今では難なくできるようになった。

さまざまな大人への通過儀礼を経験してきた今、果たして大人の仲間入りをできているのか？という問いに対して、なぜだか堂々とイエスを言い切れない。「年齢は大人になったけれど、中身は大人になれたのかなあ」という、大人になり切れていない感がつきまとう。大人になるって、どういうことだろう。簡単なようで、難しい問いである。

書店や図書館に行くと、そうした私の大人になり切れていない感がさらに揺さぶられる本を目にすることがある。「〇〇す

る力」「△△の技術」など、刺激的なタイトルの本たちが。大体が、著者の顔写真が表紙になって「この本に大人としての成功のヒントがきっとあるに違いない」と思わせる雰囲気を出している。そうした本を目にするたびに、「自分はこのままの大人でよいのだろうか？」と問われているようで、居心地の悪さを感じることもある。

どうやら僕は、大人となったこの先も、今よりも立派な大人に成長し続けるために、知識や教養を磨いていかなければいけないし、時には未知の世界へ飛び込むことが求められる社会を生きているのだと思う。もしかしたら大人というのは、いつの日かバツと線引きをしてなれるものではなく、絶えず目指し続けるものなのだろうか。

「大人になったと言い切れる日なんて来ない」と割り切り、大人になることと向き合い続けていく覚悟を決めることが、30代を迎えた今、求められているのかもしれない。



若林勇太 | Yuta Wakabayashi

札幌の児童厚生施設にて勤務。大学在学中から、こども・若者が社会の一員としての学びや気づきを育てていくための実践を模索している。サウナ・スパ健康アドバイザーという資格を取得するほど無類のサウナ好き。おすすめのサウナは札幌にあるニコリーフレ。

ほりさんに
きいてみよう

Q ほりさん、いつから大人ですか？

A 怖いです、この質問。息を呑む問いかけに「う～ん」と唸ってしまいました。それでも、自分を振り返る意味も含めて真剣に考えてみました。

「私はもう大人です！」と宣言しても、周りが「そんなことない！」と言えば大人として扱ってもらえない。一方、「もういい大人なんだから……」と都合良く大人に含められることもある。人や時代によって扱いは変わり、社会システムによっても違ってきて、「大人」の定義ってきちんと答えが出せるものではないように思います。でも、今回は自分が大人をどう考えるかの芯が問われてる気がして、そこが怖い……。

人は自動的に大人になるわけではありません。いつまでもピーターパンでもいられない。大人だと宣言しても認めってもらえない時期もあります。先日、全国で成人式が執り行われました。まあ、単なるセレモニーなんですけど、これって「もう君たちを大人として扱うよ」という社会の宣言でもあるわけですよ。では本当に20歳以上の人たちはみんな大人扱いされているのかというと、なかなかどうして。ゆとり世代だからとか、まだまだ若いなあとか、そんな考え社会じゃ通用しないとか、適当な理由をつけられて、大人扱いされないこと多くないですか？自動的に大人になるわけではないということは、周りが大人に育てていくしかないわけですが、親や教師は、こどもたちを「こども」として留めておくような働きかけをしがちです。この質問は、そういう大人をあぶり出す質問だったように思います。怖いです……。

結局のところ「いつから大人ですか？」という質問は、「その人をいつから『大人』として扱うのですか？」が問われているのかもしれない。そして、もう一つ同時に「信じて、待っていますか？」も含まれている気がしました。質問にはきちんと答えられません。ただ「いつから大人ですか？」と一緒に探り合えるのなら、その人はもしかしたらもう「大人」なのかもしれません。

LIFESTYLE

昨日の続き
明日も続き

文・写真 辻田美穂子

2019年の大晦日、私は確定申告の準備のために1年分のレシートをテーブルいっばいに並べて、ひたすら数字の打ち込みをしていた。昨年度は提出期限ぎりぎりになってしまっていて、レシートの入力ごときに徹夜した自分を死ぬほど責めたのに、今年も12月31日まで手をつけなかった。21時ごろ、ニュージーランドにいる友達から「あけおめー」と電話がかかってきたけれど、あけました感はまだないし、全くおめでたくもない状況。それでも電話をくれたことはとても嬉しくて、近況やなんでもないことを話しているうちに気持ちほぐれてきた。終わりの見えない絶望の底にいたけれど、目の前の山を崩せそうな気がした。PCへの入力が終わったのは23時52分。やり切ったという達成感でじーンとしているうちに、年をまたいでいた。

10代と共に終わると思っていた地獄は20代になっても続いたし、29歳から30歳になる時は、「さよなら、ちやほや」と思ったけれど、今もごくたまーにちやほやされる。毎日は地続き



だ。年をとっても、名字が変わっても、大事な人がいなくなってその人なしの世界が始まった。銀行の残高が三桁になっても、歩んできた人生の質量は劇的には変わらず、昨日までがグラデーションになってついでくる。

以前は不安になると日常生活もままならなかったけれど、それを乗り越えたり、また同じ状況に陥ったりを繰り返していたら、ピンチの時の対処法がだんだんわかってきて、それは「経験」になった。少しずつ経験を積み上げてきた

ら予測ができるようになって、正体のわからない不安に準備やアドバイスができるようになった。そうして心にできる小さなスペースが、「余裕」と呼ばれるものなのかもしれない。余裕があると、悩んでいる人にも、怒っている人にも、同じように混乱している自分にも少し心を配ることができる。それにじんわり応えてくれる周りの人に支えられながら、今が続いていけばいいなあと思う。

辻田美穂子
Mihoko Tsujita

大阪出身の写真家。祖母の出身地である「樺太(サハリン)」の写真を撮るために北海道に移住。2019年度より、毎週総合講座で写真の授業をしている。少しずつ北星余市に友達が増えてきて、嬉しい。



TRAVEL

なぜ？

文 朝倉侑輝（2年A組）

私は今回の修学旅行で、沖縄での戦争、そして現在の基地問題について知り、考える機会を得ました。修学旅行というと「みんなで遊んで楽しむ」というイメージを抱きがちですが、学習という面でも考えさせられるものを取り込めたことで、修学旅行では「みんなで学び考えることができる」という認識を付け足すことができました。

実際に沖縄戦の悲しさ、沖縄戦で日本がしたこと、当時の教育の異常さ、現在の基地による自然への影響の問題、戦争に兵士を送り出す基地という意味、国の理解不能な基地に対する動き、他にもっと目を向けるべき問題がありますが、私はこれだけのことを知り、「なぜ？」と考えました。私が考えたところで何も出てはきませんが、何も知らないまま日常が過ぎてしまわなくてよかったと強く思いました。そんな経験をくれたこの旅に感謝します。

EVENT

海外研修

2019.12.21(Sat)~2020.1.7(Tue)

ここ数年海外に興味を持っている子が増えてると感じ、実に10年ぶりに海外研修を実施しました。語学研修ではなく、日本以外の国での生活を体験する旅。北星余市に通う子たちは、人と違うアンテナを持っていく子が多く、それを活かして生きるというんじゃないかと思うんです。海外に行けばみつかるわけではないけれど、何かのきっかけや刺激になるかもしれません。



初めて海外に行きました

文 宮田直樹 (3年A組)

なぜこの企画に参加したのかというと、進路を海外に決めているからです。海外で心理学を学びたいと思っています。いきなり一人で海外に行くのは怖いと思っていた時に、この海外研修があったので参加しました。一番学んだことは、つたない英語でも外国人相手に通じるということ。そのおかげで、臆せずに話しかれるようになりました。皆さんは出川Englishを馬鹿にしているかもしれませんが、実際に声をかけようとしても、出川さんのように声をかけられないものです。出川さんの凄さを知りました。

最初は不安だったけど…

文 佐原麻妃桜 (1年A組)

ニュージーランドは私が思っていた世界とは違いました。バスに乗れば必ず大きな声で「Thank you」と言ったこと、行き方が分からない時は詳しく教えてくれたこと。海外というだけで怖い世界だと思っていた私を変えてくれた国でした。不安に押し潰されそうでしたが、行ってみたら不安なんてひとつも無くなり楽しく過ごせました。行ってみれば何とかなりましたし、英語が分からなくても何とかなりました。挑戦してみることの大切さに気づいた3週間でした。



EVENT

ノンストップで
滑り降りられるように

文 城之内大洋 (3年A組)

私は2年前の北星余市のスキー授業で初めてスノーボードを経験しました。今年で2度目の経験でしたが、一年振りだったためほぼ何もできないところからのスタートでした。初心者なので上手く滑れるわけもなく、ボードの上手い友達に教えてもらうように頼みました。上手くなりたい思いで何度も滑りましたが、何度も転び、心が折れそうになりました。ですが、3日間の授業で日に日に上達していることに気づき、驚く反面嬉しく思いました。最終的にノンストップで滑り降りられるようになり、技も一つ覚えました。私はこのスキー授業で諦めず続ければ成果が出るということを実感することができました。初めからできないと決めつけ簡単に諦めることは、とてももったいないのだと気づきました。こんなささいな出来事からでも学びを得ることのできる北星余市を卒業するのは、少し惜しいと思ってしまいました。

学校見学
毎日受付中!

学校見学会のようなイベントとは違い、生徒が普段どんな学校生活を送っているかを、日曜・祝日を除く9:00~17:00の間であればいつでも見学いただけます。(例外もありますので事前にお電話でご確認ください)。見学するなら平日がお勧め。授業の様子、休み時間の過ごし方などありのままの姿を見ることができます。自分がその場にいることをイメージしてみてください。

ほとんどの方が
下宿も見学しています。

せっかく北海道まで、余市まで来たのだからと、住む場所となる寮下宿を訪問される方がほとんどです。学校見学終了後に、下宿見学も希望される場合はその旨お伝えください。所要時間は、移動も含めて1件につき約30~60分。多い方で3件くらい見学されます。余市町内の地理感覚や車などの交通手段のない方のために、寮・下宿の管理人さんが学校まで迎えに来てくださる場合も。詳しくはお問い合わせください。

INFORMATION

2020年度入試受験
応募状況と募集人員について

2020年度、本校1年生への入学をご検討されている方の予約面接試験の申込者数が70名に達しました(2020年12月21日現在)。本校が2020年度入試において受け入れられる生徒数は最大76名のため、受け付けを締め切らせていただきました。今後は、キャンセル待ちとして申し込み順に仮受け付けを行い、不合格者や入学辞退者等が出次第ご連絡を差し上げ、受験されるかどうか確認させていただきます。

受け入れ可能人数が76名と少ないこと、募集要項に書かれている募集定員の数と一致していないこと、こんなに早い段階で70名もの応募をいただけてとっていただけたために、大変なご迷惑をおかけしております。過去10年間においてこの応募数は先例がなく、皆様の本校教育へのご理解と、ここ数年の本校教育存続の応援あつてのことと大変感謝しておりますが、同時に、2020年度入試の受験を検討されている方々には、大変申し訳ない状況になっております。

編集後記

グレッタ・ガーウィグ監督の映画『レディ・バード』を観ました。主人公は高校3年生の女の子。映画が始まった時にはこどもだった彼女が、映画が終わる頃には大人になっていました。じゃあ大人って何? って言われるとよくわからないんですけど。機会があったら観てみてください。(佐々木信)

募集要項には「募集定員140名」と記載しておりますが、76名に変更したい旨を北星学園本部に上申しておりました。募集定員は北星学園余市高等学校の独断で変更することはできず、学園として決定する必要があるため、その判断を待っていたところ、今般のような事態となってしまいました。

私たちはたくさんの生徒を受け入れたいと考えています。しかし、公立高校とは異なり、生徒数に合わせて教員数を増減することは難しく、生徒数と教員数の均衡を図りつつ安定して人数を保持できる将来計画を考え、1学年2クラス体制(1クラス最大38名)で臨んでおります。恒常的に1学年95名の生徒数が確保できる見通しがあれば、1学年3クラス体制も可能となりますが、年よっての増減は人員配置やカリキュラム構成や経営収支等、様々な事柄に大きく影響し、昨今お騒がせしている存続問題につながる要因となります。

2020年度の1年生予約面接試験を検討されていた方で、まだまだ人数に余裕があるとゆっくり考えていた方、受け入れ可能人員に達してしまい受験できなかった方、大変申し訳ありません。筆記試験を伴う「一般試験」については、入試要項の通り募集いたしますが、可否判定において状況を鑑みながら判断いたします。詳細のお問い合わせ等につきましては、0135-23-2165(入試担当 田中亨)までご連絡ください。

表紙の写真のうらばなし

北星余市に来て驚いたことは先生と生徒の関係性。「とーる」「ごりぼん」先生のことはこんな風に呼んでいる。みどり、あいりと吉田先生はお散歩友達。とりとめもない話をしながら余市を散歩している。先生と散歩に出かけたいなんて、私は思ったことなかったな。信用できる大人がいるって素敵。(辻田美穂子)

hoshiii
ほし
星しんぶん

発行日: 2020年3月1日(日)
発行元: 北星学園余市高等学校

北星学園余市高等学校

046-0003
北海道余市郡余市町黒川町19丁目2-1
Tel. 0135-23-2165 (職員室)
Fax. 0135-22-6097 (職員室)

www.hokusei-y-h.ed.jp



日々の学校生活の様子を
更新しています
ブログ
北星余市はいま!



動画で観る北星余市
北星余市
Youtubeチャンネル



卒業生がいかに
生きているか
ウェブマガジン
STAR RECORD

